

県内初、公共工事で発生する廃電線を障がい者就労支援に有効活用 — 柏崎電気工事協同組合から事業提案

柏崎電気工事協同組合等の加盟業者が、平成 31 (2019) 年 4 月から社会貢献活動として、公共工事で発生する廃電線を有効活用した障がい者就労支援に取り組みます。公共工事から発生する廃電線の有効活用による就労支援事業は、県内初の取組です。

本事業は、同組合が社会貢献活動として加盟業者に推奨し、それぞれの意向をとりまとめ、このほど市が提案を受けて実施するものです。

事業内容は、加盟業者のうち参画可能な業者が公共工事で、これまで産業廃棄物扱いとして処分していた電線を障害福祉サービス事業所に提供し、銅線として再資源化するというものです。

電線を再資源化する過程で、様々な障がいをお持ちの方が携わることができ、同線の売上により賃金水準の向上が見込めることから、有効な障がい者就労支援策として本事業を後押しするとともに、大きな期待を寄せています。

1 事業効果

障がい者の仕事の確保、賃金水準の向上

2 事業概要

(1) 関係者

- ・ 柏崎電気工事協同組合等の加盟業者のうち参画可能な業者
- ・ 障害福祉サービス事業所
- ・ 有価物回収業者

(2) 事業の流れ (裏面参照)

ア 市発注工事において発生する廃電線のうち、今まで産業廃棄物扱いとしていた 14 平方ミリメートル程度以下のいわゆる細物の電線を、受注業者が障害福祉サービス事業所に提供することを希望した場合、市はこれを認め、必要な設計変更を行う

イ 障害福祉サービス事業所は、これを買取り、障がい者がビニール等の被覆材をむきとる作業を行う

ウ この作業によって付加価値を高めて銅線として再資源化し、有価物回収業者に売却する

廃電線を有効活用した就労支援事業 概略図

